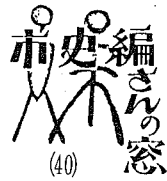




大正15年に創設された新保自動車部



県下で十六台目のトラックを一台六千円で購入し、運搬資格を取ったのが新津市で第一号の運転手といわれています。

またタクシーの料金は、

市内五十銭でした。都会では、市内どこへ行っても一円で、円タクといわれていたのです。

今はマイカー時代で、この家にも車がありますが、大正の時代は、自動車は見ると珍しくいられた。

旧金津村宇中村の新保健次氏が、現在の新興タクシーの前身である新保自動車部を創設したのは、大正十五年のことです。

ともども、

古老 大正・昭和の初め頃

が電灯線を伝わってくる不思議さに感心しながら、耳を傾けたものです。

油の運送などで馬車による運送業を営み、将来を展望して、自動車運送を計画したのが大正八年。当時、

大正といえは、何でも舶来流行といわれていました。上野直通の列車が、信越線經由で十六時間はかかっていました。

いろいろな意味で、文化が入ってきた。ハイカラなどという言葉も、この時代に生まれました。男は洋服を着て懐中時計、女は元禄袖の着物に白丁袴姿がはりました。しかし、庶民には縁がありませんでした。

その頃、新津市は「鉄道のまち」としての華あけを

迎え、信越、磐越、羽越線の要衝となり、前達洋々、大発展の途上の頃でした。また、石油もその頃は、最盛期でした。

昭和の初め頃、珍しいといえは、時代の出現です。テレビ、ラジオの出現で、笑われるかもしれませんが、とても一家に一台というわけにはいきませんでした。

ラジオの値段は、三球から四球の真空管で三十円から四十円もしました。それでも、役場や学校では、いち早く備えられたようでした。音声

大正、昭和の初め頃の華やかさばかり話しましたが、現在では、想像もつかない農村のこともありました。米価暴落など、生計に困る人が多く、今ではとても食べられないようなばらばらの外米が入ってきました。戦時中に「配給」という言葉がありました。大正七年に、すでに外米配給通知というのがあったのです。

(聞き書きより)

県教育委員会と青少年育成相談センターでは、幼児から高校生くらいまでの悩みごとなどについて、次のように巡回相談を行っています。

巡回相談をご利用ください
 〇とき：十月二十九日(火)
 〇申込み：十月二十一日午後一時三十分～午後四時三十分
 〇ところ：教育委員会相談室(市役所分館)

県立高等職業訓練校では、次のように専修訓練課程及び普通訓練課程(二類)の訓練生を募集しています。

県立高等職業訓練校で訓練生を募集

〇応募資格：義務教育を修了した人(米春中学校卒業予定者も含みます)
 〇受付期間：十一月九日まで
 〇応募方法など：お問い合わせください。

新発田総合高等職業訓練校では、次のように入校生を募集しています。

新発田職業訓練校で入校生募集

〇応募資格：中学校または高校を卒業した人(米春卒業予定者も含みます)
 〇受付期間：十一月九日まで
 〇応募方法など：お問い合わせください。

新発田総合高等職業訓練校では、次のように入校生を募集しています。

児童手当を振り込みます

お買物、ご用命は市内で

小島獣医科病院

☎ 24-2223 (秋葉2丁目)

駐車場完備



・時間
 平日 AM9:00～12:00 PM1:30～7:00
 土曜 AM9:00～12:00 PM1:30～3:00
 日・祭日 AM9:30～12:00(予約)
 ・案内
 獣医科診療全般
 動物コンサルタント
 グルーミング(美容)
 ホテル

